

みみタロウ

にほんごばん ☆ 125号 2017年10月

しがけんこくさいきょうかいぼらんていあぐるーぶ「みみタロウ」
滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」
おおつし はま びあざおうみ
大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F
Tel/Fax : 077-523-5646
E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp
URL : http://www.s-i-a.or.jp
f : https://www.facebook.com/siabiwako



いま かんしゃ 今のしあわせに感謝



こんかい たらう たいわんしゅつしん ながたけいか おおつしざいじゅう じんせい はなし
今回、みみタロウは台湾出身の永田桂香さん(大津市在住)に、これまでの人生についてお話していただきました。



むすめ かぞく いっしょ
娘さんのご家族と一緒に

たいわん せいき
台湾には17世紀、
ちゅうごく かんぞく
中国から漢族が
くるまで、さまざま
げんじゅうみん
原住民が住んで
いました。私は
その原住民族の
ひと た おぞく
一つ、泰雅族の
しゅつしん
出身です。14歳

とき た おぞく むら おぼ す しゅと たいべいし で
の時、泰雅族の村から叔母の住む首都、台北市に出て、
うた おど べんきょう
歌と踊りを勉強しました。そしてプロの歌手になり、
えんげいだん にほん しんがぼーる かいがい なが
演芸団とともに日本やシンガポールなど海外で長く
かつどう こん たいわん りょこう にほんじん
活動していました。その後、台湾に旅行していた日本人
おっと し あ げっこん しごと らいにち ねんた
の夫と知り合い結婚。仕事をやめて来日し、30年経ちま
す。

た おぞく にほんとうちか
泰雅族は、日本統治下(1895-1945)に、日本
の大きな影響を受けたため、両親は日本語を話します。
でも私はほとんど話せなかったもので、日本ではわからな
いことばかりで、夫になんでも頼って暮らしてきました。
でんきや いとな おっと やさ まじめ ひと
電気屋を営んでいた夫は、とても優しくて真面目な人
です。子ども二人授かりましたが、子育ても夫が中心
になって、子ども達を時には厳しく一生懸命育ててくれ
ました。家では夫がしっかり者で、私はその逆です。
私 が子ども達のためにできたことは、ただ夫を応援す
ることと、たくさん愛情を注いだことだけです。だから
子ども達 が立派に育ったのは、夫のおかげなんですよ。

そんな子育ての最中、まだ子ども達が中学生だった頃、
我が家の大黒柱の夫が大病を患うという一大事が起
きました。おかげさまで今は元気になっていますが、当時
は夫の健康が心配でたまらず、不安で心が一杯でした。
しかし私はもともと元気者です。暗い顔ばかりして
はだめだと一念発起。それまで家に居て働いたことがな
かった私ですが、45歳にして初めて仕事を探すことに
したのです。子ども達も病気の父親と外国人の母という
りょうしん もと ききかん も き
両親の元で危機感を持ったのでしょうか。これを機に
いちだん じぶん じぶん き つよ
一段としっかりし、自分のことは自分で決められる強い
こ せいちょう おも
子どもに成長したと思います。

しんぶん きゅうじんらん けいけんふもん ことば み ちか
新聞の求人欄に、「経験不問」という言葉を見つけ、近
くのホテルの清掃業に応募することにしました。友達に
でんわ かけてもらって面接に行くと、「日本語ができな
くても大丈夫です」と言ってもらい、仕事を始めること
になりました。あれからもう16年、琵琶湖
ぐらんどうほてる へや よくしつ せいそう しごと
グランドホテルで部屋と浴室の清掃の仕事をいま
す。時には体調を崩すこともありましたが、頑張っ
て しごと つづ
仕事を続けてきました。

わたし しごと しょくば だいす 仕事はいつも同じ10
部屋ほどを担当しており、他の仕事に変わりたいと思っ
たことはありません。職場の人達は優しい人ばかりで、
みんな仲良しです。朝、職場に着くと「おはよう。元気？」
「みんな頑張ってるよ！」と笑顔でみんなに元気よく声
かけるのが私の日課です。私の取り柄は笑顔だけ。
だからいつも笑顔です。辛い時も、無理にでも笑顔を作
ると幸せな気分になるし、笑顔が周りの人にも広がります。
うつむいている人にも「元気ないよ！」と大きな声
をかけると、すぐに笑顔になります。みんな私のことを
「おかあちゃん」と呼んでくれて、結構人気者なんです。
もちろんお客さんにも笑顔で挨拶。いくら疲れていても
笑顔です。台湾人や中国人のお客さんもとても多くい
らっしゃるので、あちこちで言葉が通じない度に言葉の
お手伝いもしています。時にはお客さんに廊下で呼び止
められ、美味しいお店のことなどいろんな情報を教えて
あげたりもしています。職場は私のもう一つの家庭、
職場の仲間がもう一つの家族です。私はもう、希望すれ
ば早めに年金をもらえる年齢になりました。でも仕事は
私の生きがい、健康の源です。体の許す限り、でき
るだけ長くこの仕事を続けていきたいと思っています。

ひと じんせい しあわ
人それぞれ、いろんな人生があり、幸せがあります。
私の場合、家族が幸せになることが一番の喜びです。
子ども達はそれぞれの道をしっかり歩み始め、今年は孫
もできました。たくさんの幸せを与えてくれた夫と子
ども達、これまでご縁のあった人々
に感謝しています。そして、これか
らこの平凡な幸せを大切に暮ら
していきたいです。

